

静岡県立中央図書館の 電子図書館サービス

第24回図書館総合展セミナー発表資料 11/15（火）

@Zoom

静岡県立中央図書館
企画振興課 企画班
主任 杉本 啓輔

今日の目的と話題

目的

- 電子図書館サービスについて他館の参考となる話題を提供する

主な話題

- 電子図書館サービスの導入経緯
- 広報の工夫

構成

1. 静岡県立中央図書館の紹介
2. 電子図書館サービス導入の経緯
3. サービス概要
4. 導入後の広報
5. 今後の課題（…要望？）

1. 静岡県立中央図書館の紹介

概要

1925年 静岡県立葵文庫

徳川家ゆかりの資料や初代県知事収集資料を所蔵

1970年 静岡市駿河区谷田丘陵地帯へ移転

近隣の大学と美術館と合わせて県の文教地区に指定

スローガン

「調べる・考える・解決する」



第1図 静岡県立中央図書館の外観

「図書館DX実証実験」という枠組み

図書館DX
実証実験

静岡県立中央図書館は、
図書館DX実証実験として、
順次利用者サービスのDX
化を推進していきます。

第1弾
9/1~

第2弾
10/1~

第3弾
10/1~

スマホ表示
貸出カードの

ウェブ申込
利用者登録等

電子図書館

メリット

図書館DXの一連のサービスを利用すると、
来館せずに、図書館のサービスを受けるこ
とができます。

問い合わせ先 県立中央図書館企画課
電話 054-262-1246
メール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

調べる・考える・解決する
静岡県立中央図書館

- 様々な図書館で既に行われていることに「図書館DX実証実験」という枠組みを設けて目新しさを付与
- ティザームービーを作成しわくわく感を演出
<https://youtu.be/GKB-00rIrWc>

第2図 図書館DX実証実験の広報ポスター

DXとは

Digital transformation（デジタルトランスフォーメーション）

1. 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを**変革**すること
2. 業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を**変革**し、競争上の優位性を確立すること

静岡県のDXに関する動き

(2021年4月)

- 県行政や社会全体のデジタル化を推進する総括的な司令塔として**デジタル戦略局**を開設
- デジタル戦略推進本部及びデジタル戦略顧問団を設置することにより、**全庁を挙げた推進体制**を構築
- 各部局と連携し分野横断的課題解決に向けて、検証・実証を行っていくための事業費を設定し、**DX事業の提案募集**を実施

図書館DXの例



第3図 みんなで翻刻



第5図 司書ロボット



第4図 Omeka

デジタル技術を用いたサービスは多様に存在



何を課題とし何を解決したいのか

2.電子図書館サービス導入 の経緯

当館の課題

- 遠隔地サービス

県民に対し、県内全域で県立中央図書館のサービスが利用できる
新しい生活スタイルの提案

- システム面での新しいサービス

新県立中央図書館システム構築への反映
※新県立中央図書館は2027年開館予定

解決のための考え方

- ニーズが見込めるもの
- 予算のとりやすさ

非来館

- 遠隔地サービス

県民に対し、県内全域で県立中央図書館のサービスが利用できる
新しい生活スタイルの提案

非接触

- システム面での新しいサービス
新県立中央図書館システム構築への反映
※新県立中央図書館は2027年開館予定

要利用者
登録

先見性

目新しさ

使いやすさ

結果（2021年度実施のDX推進事業）

- 貸出カードのスマホ表示
 - 利用者登録等Web申し込み
※CSVでの一括取込を含む
 - 電子図書館
 - 自治体資料PDFクロールシステム → 間接的サービス
- 直接的サービス
-

第1弾 貸出カードのスマホ表示

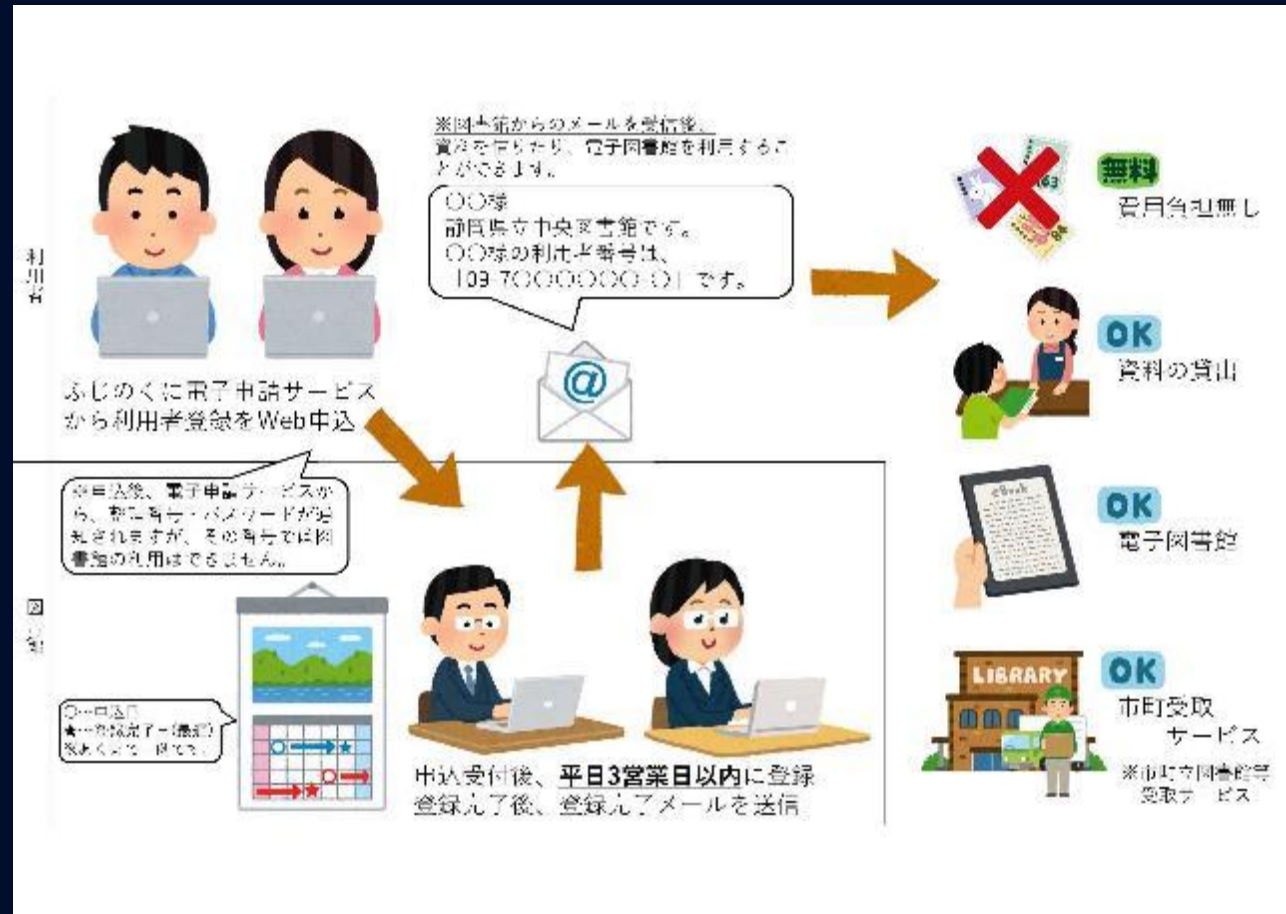


第6図 貸出カードのスマホ表示



出典：“スマホ表示で本貸し出し”。静岡新聞，朝刊，2021年9月7日，4ページ。

第2弾 利用者登録等Web申込



第7図 利用者登録Web申込のフロー図

第3弾 電子図書館

- サービス名 紀伊國屋書店 学術電子図書 KinoDen
- 所蔵資料数 1,166点 (2022.9.30日現在)
- 想定対象者 高校生から新社会人
- キーワード 「未来に一步を踏み出すあなたへ」

3. サービス概要と統計情報

※2022年9月末時点

導入にあたり検討したこと

- どの電子書籍サービスを導入するか
- どこにターゲットを絞るか
- 資料収集方針は既存のものを流用するか、新規で作成するか

どの電子書籍サービスを導入するか



第1表 検討した電子書籍サービス

サービス名	ベンダー	備考
LibrariE&TRC-DL	図書館流通センター	国内導入実績 1 位
OverDrive	メディアドゥ	学校図書館の利用多数
KinoDen	紀伊國屋書店	学術系資料多数

どこにターゲットを絞るか

- 高校生から新社会人
＝新規ユーザの開拓
- 新館で実施予定のサービスのうち、若年層に向けたサービスが弱い
→足掛かりとなるか



第8図 図書館サービス計画

資料収集方針をどうするか

既存の資料収集方針

- 県内図書館の中核として調査研究の機能を遂行するための資料収集と、市町立図書館等への支援・協力を中心とした資料整備を行っている。

県外図書館への調査

- 電子図書館導入済みの図書館に対して、電子図書館を導入する際、新規に収集基準を設定したかを調査

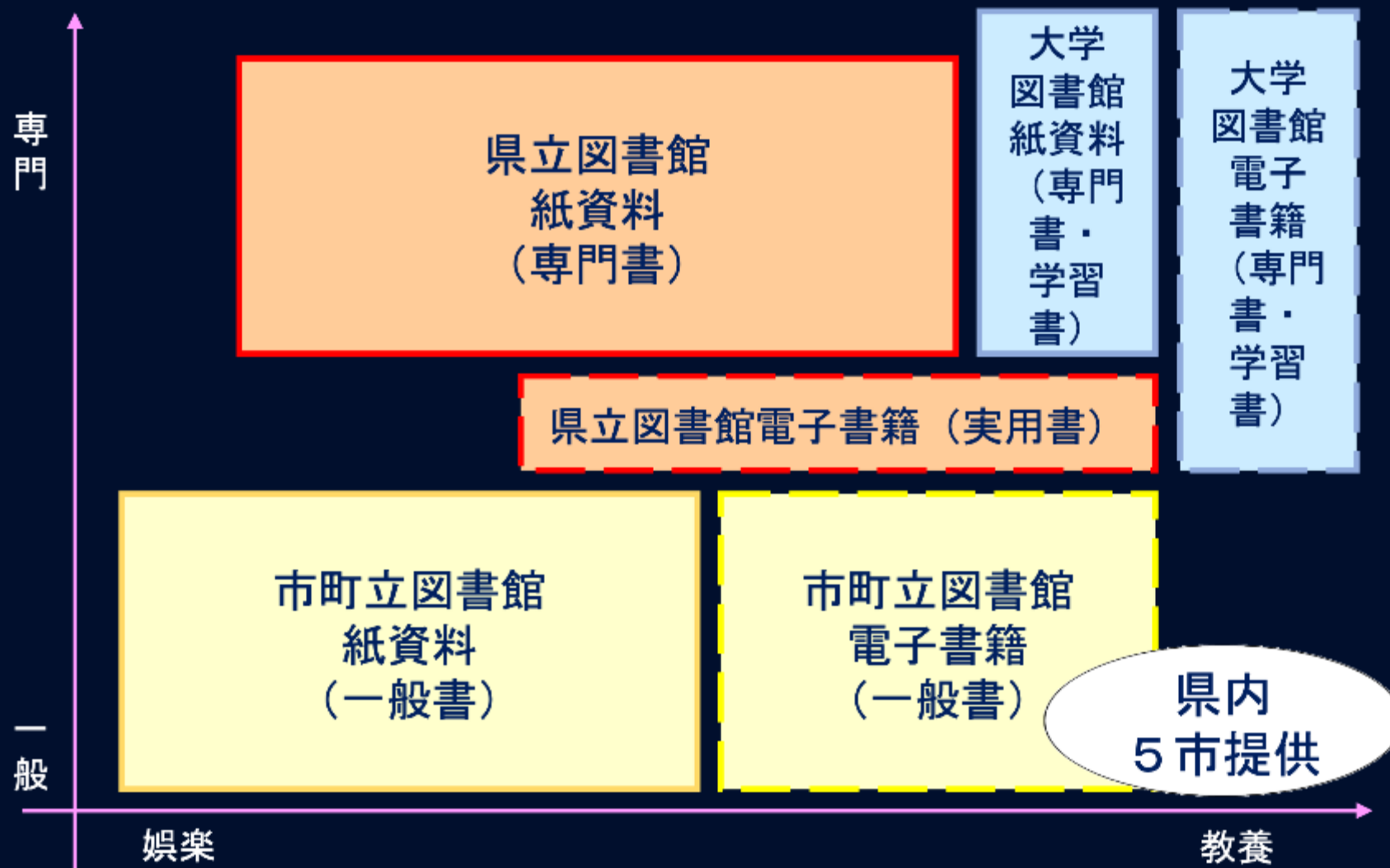
→多くの図書館が既存の資料収集方針を流用

電子書籍収集方針

未来に一步を踏み出すあなたへ

- 高校生・大学生から社会人の「次の一步」を支援する資料を収集する
- 「知識の拡充」及び「経験の補完」を支援をする資料とする
- 「学習」「仕事」「QOL(生活の質)向上」を主テーマとする

電子書籍の棲み分け



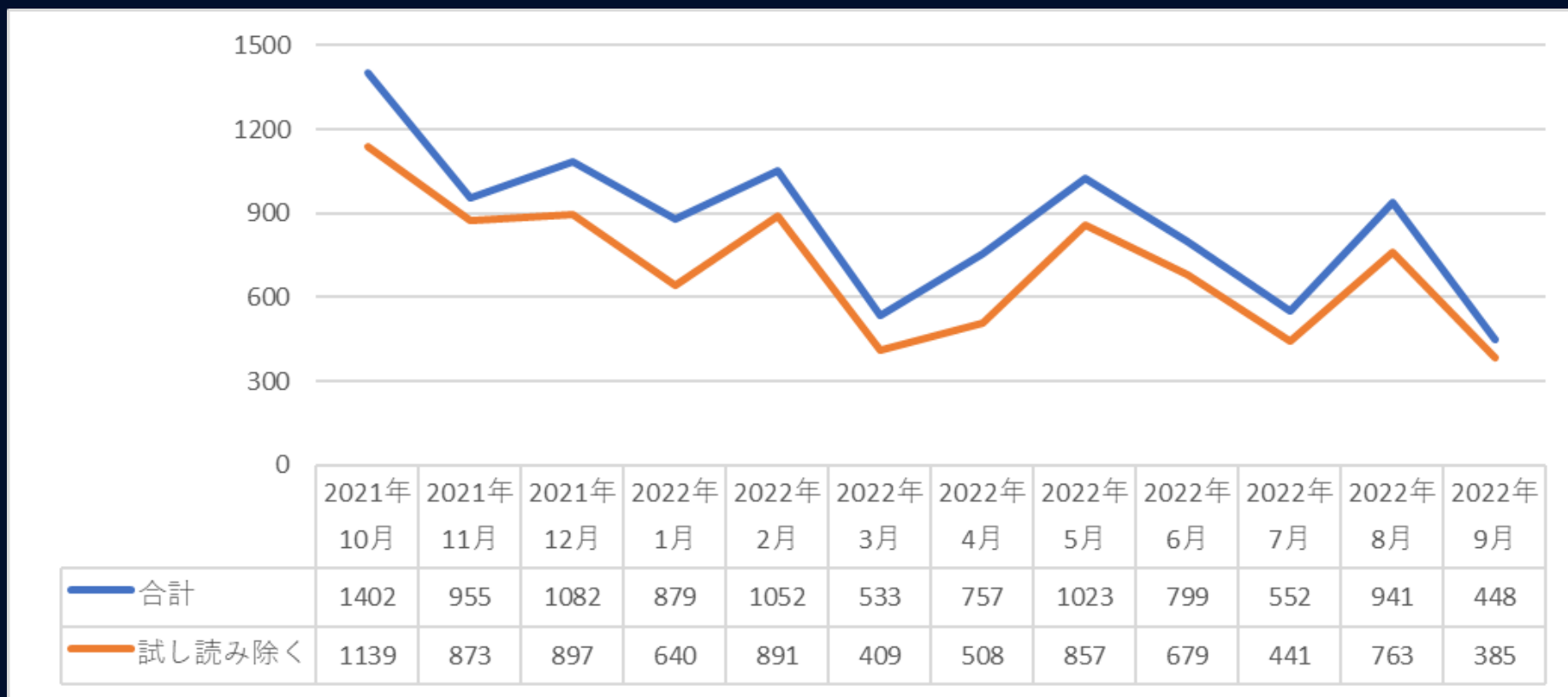
第9図 電子図書館の立ち位置

所蔵の状況

第2表 電子書籍の所蔵状況

分類	電子書籍点数
0類（総記）	69
1類（哲学）	48
2類（歴史）	23
3類（社会科学）	305
4類（自然科学）	159
5類（技術、工学）	148
6類（産業）	50
7類（芸術、美術）	99
8類（言語）	185
9類（文学）	10
未分類	70
計	1,166

電子図書館利用状況



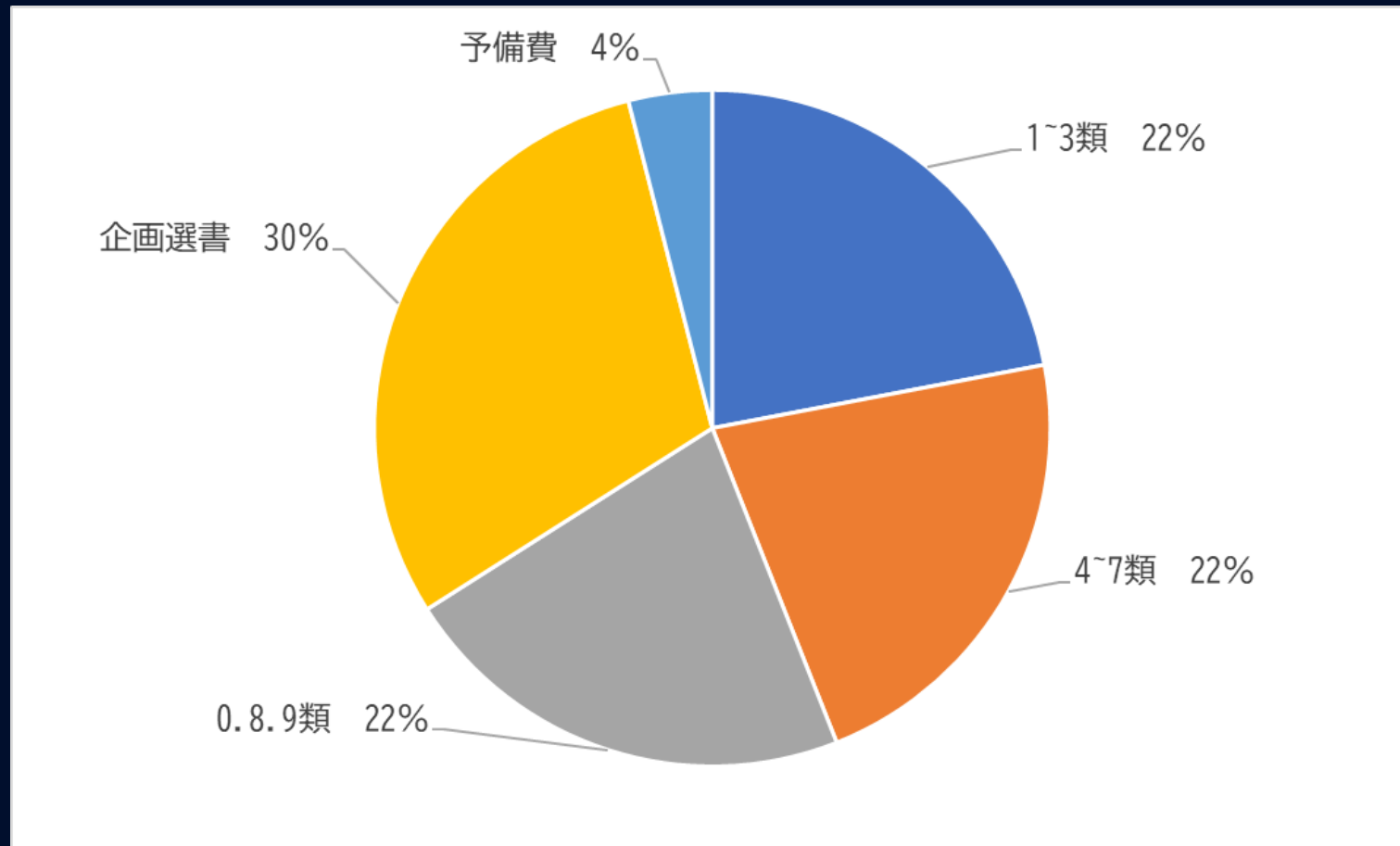
第9図 電子図書館の利用状況

選書体制

第3表 電子図書館の選書体制

紙選書	1～2類	3類	4・5類	6・7類	8・9類	0類	検討 チーム
人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人	6人
電子書籍	1～3類		4～7類		0・8・9類他		企画・ 選書・発注
人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
(4月)							A
(6月)							B
(8月)							C
(10月)							D
(12月)							E
(2月)							F

予算配分



第10図 電子図書館の予算配分

4.導入後の**広報**

一般向け

← ツイート



【公式】静岡県立中央図書館

@shizuokaken_lib

...

さて、静岡県立中央図書館の電子図書館に35点追加されて、971点となりました！

今回は4類から7類の資料を中心に選書しました！

↓ご利用はこちらから↓

tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/insti...

新着書籍



ーラ黒田園芸と12
の小さな花のある
し



デザイン3000



はじめての精密工学



テキパキこなす！セ
タイ作業効率があ
エクセルの時短テ

午後1:35 · 2022年7月27日 · Twitter Web App

第11回 新着電子書籍の紹介

大学図書館向け

- 静岡県大学図書館協議会 「静岡県立中央図書館の電子図書館」
(2021.12.16)

→上記、研修終了後、大学生による選書を実施。

→「静大生のおすすめ本」として紹介。

静大生のおすすめ（一部）



統計学One Point 5
欠測データ処理
Rによる単一代入法と多重代入法

著者: 高橋将宜 渡辺美智子
出版社: 共立出版
出版年月: 2017/12

ISBN: 9784320112568
eISBN: 9784320995574
NDC: 417
ProductID: KP00024631
形式: PDF

第12図 欠測データ処理



自動車の運動と制御 第2版
車両運動力学の理論形成と応用

著者: 安部正人
出版社: 東京電機大学出版局
出版年月: 2012/01

ISBN: 9784501419202
eISBN: 9784501959906
NDC: 537
ProductID: KP00006958
形式: PDF

第13図 自動車の運動と制御

高等学校向け

- 「高等学校等生徒一括登録」の開始
学校における電子図書館の活用を目指す。
- 県立学校の生徒であれば、学校を通じて、利用者登録が可能。
- 1,000人弱の利用者登録を実施。

5. 今後の課題

電子図書館の運用の課題

- 電子書籍の継続的購入

→ 購入単価は紙資料の数倍（例：6千円/1冊）

- サービスの乱立

→ それぞれのミニマムな広報を通じて電子図書館の新規性、話題性がなくなる

- ノウハウの共有

- 利用状況等の継続的な分析及びその反映

電子図書館に対する要望

- 選書環境の向上
(図書館側の工夫も必要だが……)
- コンテンツ情報の充実
- 未分類コンテンツの解消

静岡県立中央図書館の 電子図書館サービス

第24回図書館総合展セミナー発表資料 11/15 (火)

@Zoom